

三鷹駅南口中央通り東地区再開発ニュース

第 55号

(令和 6年4月発行)

発行：三鷹駅南口中央通り東地区再開発協議会
連絡先：(事務局)UR都市機構 東日本都市再生本部
事業推進部 三鷹都市再生事務所
TEL 0422-70-0556

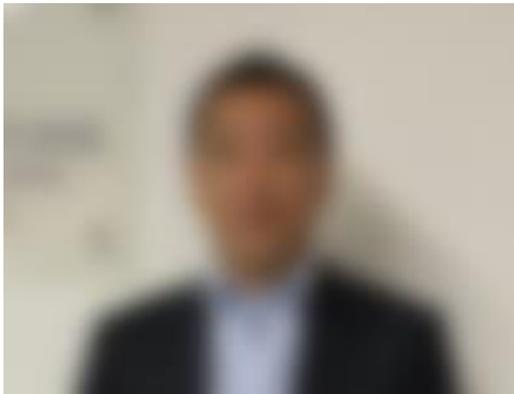


トピックス

UR都市機構三鷹都市再生事務所長 ご挨拶
再開発協議会第98回勉強会のご報告
UR都市機構からのお知らせ



UR都市機構 三鷹都市再生事務所長 ご挨拶



UR都市機構 三鷹都市再生事務所長の武井英二です。
令和6年4月1日付で、前所長の守屋の後任として着任いたしました。私自身、平成29年度～令和元年度まで当事務所の事業調整課長等として当地区の再開発推進に携わっていました。再度戻ってくることができて嬉しく、また大変に身の引き締まる思いでもおります。
三鷹市と密に連携の上、今後も引続き地権者や関係者の皆様と再開発事業の推進に努めてまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

再開発協第98回勉強会のご報告

去る令和6年3月26日、再開発協議会第98回勉強会が開催されました。
前回第97回勉強会では、ワークショップ形式でまちを利用する上での「過ごし方」「使い方」について意見を出し合いましたが、今回はその意見を実現するための「景観」「空間」についてワークショップを実施しました。参加者は三鷹駅南口周辺の白地図に、それぞれが考えるまちの「景観」「空間」についての意見を書いた付箋を貼り、活発な意見交換が行われました。中でも緑・広場空間・商業関連の意見が多く見られ、参加者の皆様の関心の高さが伺われました。
三鷹市・URからは、今回のようなワークショップでの権利者・関係者の皆様からのご意見を踏まえて今後配置計画等の検討を進め、より具体的な議論ができる段階へと進めて行く旨の説明がありました。

(次ページに続く)

ワークショップで出た意見の整理

①スクランブル交差点周辺

- ・駅からの入口に広場
- ・開放感のある入口広場
- ・商業が隠れない緑（駅からの目線が通る）
- ・入口に情報発信があるといい
- ・スクランブル交差点の四隅にそれぞれ広場をつくって全体で大きな空間になるといい
- ・キッチンカーが入る広場が欲しい
- ・広場に段差を作って座ったりすることができる仕掛け
- ・ジブリバスを停車させて人を呼び込めるようにしたい



③緑・広場

- ・進入可能な緑化
- ・緑化は雑木林のイメージ（武蔵野の雑木林が由来、林の隙間から商業や文化施設をのぞき込むことで興味を引く仕掛け）
- ・裏手に「静」の緑化
- ・大きい広場や、小さな広場をいくつか欲しい
- ・大人と子供で広場の使い分け
- ・広場を中心にまちを展開
- ・安全安心な小広場を中心部に広場での滞留が目玉
- ・きっちりした広場ではなくいろいろな使い道ができる広場がいい
- ・いろいろな方向から見える広場がいくつかあるといい
- ・広場の滞留時間を長くする工夫が欲しい
- ・夜も利用できる広場がいい
- ・人が集まる、流れる工夫、場所に引き込まれる工夫

②中央通り・商業関連

- ・既存の商店街との連続性（つながり）
- ・商業と連携した文化施設（動⇄静）
- ・中央通り沿いには商店街や学生の活動にも使える広場がいい
- ・マルシェやイベント時にも使える広場が欲しい
- ・夜も楽しめる広場沿いの飲食店もいい

④イベント

- ・屋上で農業体験
- ・路地（通路）を活用した農業体験
- ・緑×農業で特色を出す（ホップや葡萄を栽培してそれを三鷹産の加工品等で販売）

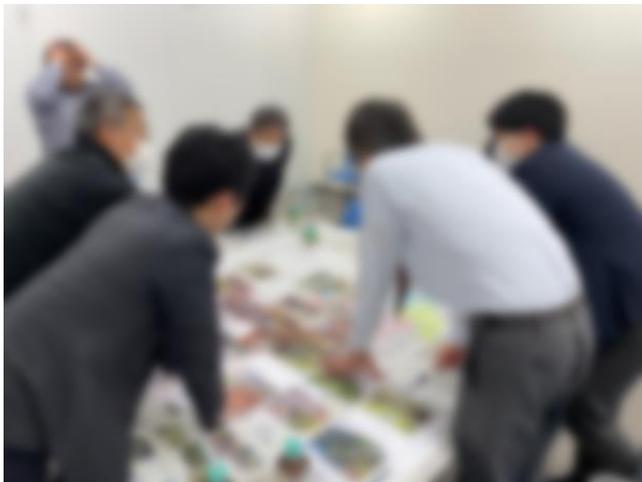
⑤路地空間

- ・本町通りから赤鳥居通りへつながる路地空間がいい
- ・路地裏的空間でまちにメリハリを持たせたい

⑥環境関連

- ・落ち葉を集めてたい肥を作るイベントなどもいい
- ・水やせせらぎがあると夏は涼しく感じる
- ・ミストシャワーが欲しい
- ・大きな木を植えて日影を作ったり落ち葉を利用したりする
- ・ジブリなどのアニメとのコラボなどが体験できる場

⇒④～⑥は景観や管理・運営の視点の検討が必要



▲ 1 班の議論の様子



▲ 2 班の議論の様子

UR都市機構からのお知らせ

去る4月1日付の人事異動により、所長として武井英二、事業計画担当として唐鎌新、小幡彩が当事務所に配属されました。

所員一丸となって再開発事業の推進に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

